

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-81	中 学 校	国 語	国 語	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東 書	国 語 002-82	新 編 新 しい 国 語 2		

## 1. 編修の基本方針

# 「言葉の力」で未来をひらく。



国語で身につけたい力とは何か。情報を集め、分析し、それをもとに論理的に考えぬく力。

身の回りの物事や人の心を細やかに感じ取り、豊かに想像を広げる力。

周囲の声に耳を傾け、自分の考えや思いを相手にしっかり伝える力。

子供たちがそうした「言葉の力」を着実に身につけ、

「言葉の力」によって未来を切りひらいてゆくことを願って、「新編 新しい国語」を編修しました。

## 1 「言葉の力」を、生きる力に。

—国語の学習で、どんな力を、どうやって身につけるのか。その問いに答える教科書です。

「言葉の力」—言葉を使って論理的に思考し、豊かに想像し、伝え合う力—は、子供たちのこれからの人生や社会生活を支える、生きる力です。では、「言葉の力」の具体とは？ それを身につける手立てとは？ この教科書には、「言葉の力」が確かに身につく仕組みがあります。



## 2 国語の授業から広がる未来。

—言葉を駆使して、自分の、社会の、未来をひらく。  
国語の授業のその先を見据えた教科書です。

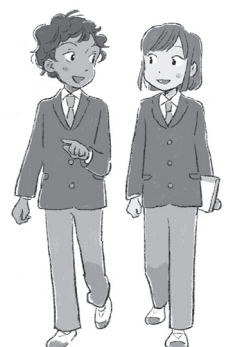
読んだり、書いたり、話したり聞いたりできるようになることだけが、国語の学習のゴールではありません。予測困難な時代を生きる子供たちが、言葉を駆使して自己と向き合い、社会の課題に目を向け、未来を切りひらくこと。それが、国語の学習の、この教科書の、目指すゴールです。



## 3 一人一人の「学びたい」に寄り添う。

—分かるようになりたい、できるようになりたい、知りたい、もっと学びたい。  
一人一人の「たい」にしっかり応える教科書です。

学習において最も大切なのは、学ぶ意欲。子供たちの興味に、つまずきに、もっと学びたい気持ちに、教科書とデジタルコンテンツで応えます。必要に応じて、進度に応じて活用できるデジタルコンテンツが、個別最適な学びを支えます。



# 1

## 「言葉の力」を、生きる力に。

—国語の学習で、どんな力を、どうやって身につけるのか。その問いに答える教科書です。

### ① 国語の学習で育む論理的思考力、感性・想像力、伝え合う力。そのポイントが、具体的かつ明確に分かります。

- 国語の学習で身につけたい汎用的な言語能力のポイントを、各教材に設けた「言葉の力」の囲みに示しました。
- 3年間で身につける「言葉の力」が一覧できます。3年間の学習を見通したり振り返ったりすることができます。

▼p.32-「足跡」の「言葉の力」

「言葉の力」一覧

学年	読むこと	書くこと	話すこと・聞くこと
1年	1-1 現代文の読み解き	1-1 現代文の書き出し	1-1 話し合い
2年	2-1 現代文の読み解き	2-1 現代文の書き出し	2-1 話し合い
3年	3-1 現代文の読み解き	3-1 現代文の書き出し	3-1 話し合い

▼巻末「言葉の力」一覧

### ② 生徒の好奇心に応えつつ、確かな学力がつく教材を厳選しました。協働的な学びも重視しています。

- 読み比べ、図表の読解、自分の意見の形成。論理的思考力の育成を重視しました。
- 思春期の感性に響く作品を取りそえました。生徒の自己形成に寄与します。
- 協働的な学びの場を数多く設けました。他者との関わりを通して、多様なものの見方・考え方を知り、自分の考えをじっくり深めることができます。

サハラ砂漠の茶会

黄金の扇風機

▼p.102-「黄金の扇風機」(田中真知) / p.106-「サハラ砂漠の茶会」(千住博) 「美」についての二つの主張を読み比べ、自分の考えをまとめる。

▼p.32-「足跡」(瀧羽麻子) 授賞式で「私」が喜ぶ理由とは。中学生の等身大の葛藤を巧みな展開で描いた小説。

足跡

インターネット・新聞の活用

▼p.76-「インターネット・新聞の活用」

### ③ これからの時代に欠かせない情報活用能力の育成にも力を入れています。

- 随所に、情報の収集や整理、編集、表現・発信の仕方を学べる教材を用意しています。



正しい「言葉」は信じられるか

▼p.156-「正しい言葉は信じられるか」(西秀信) 「てびき」では、ニュースを読み比べたり、構成や表現を工夫して記事を書き換えたりすることを通して、メディアとの付き合い方について考えを深める。

# 2 国語の授業から広がる未来。

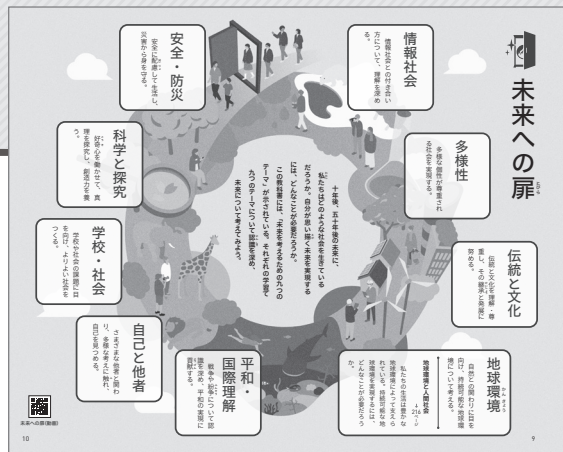
—言葉を駆使して、自分の、社会の、未来をひらく。  
国語の授業のその先を見据えた教科書です。

① 国語の学習のゴールは、言葉を駆使して自分や社会の課題に向き合えるようになること。この教科書には、その実現のための仕組みがあります。

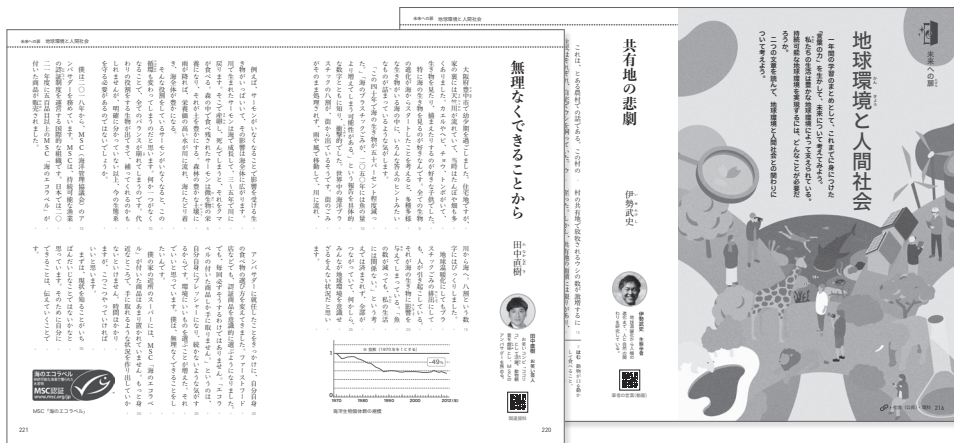
• この教科書では、「未来を考えるための9つのテーマ」を設定しています。各教材に示されたテーマを通して、自分や社会の課題を認識することができます。

• 各学年末に、未来を考えるための教材「未来への扉」を設けました。これまでに身につけた「言葉の力」を使って、テーマについて考えを深めます。1年間の総まとめの教材として活用することができます。

▶ p.216~ 未来への扉「地球環境と人間社会」生態学者が説く、人間が環境問題を引き起こすメカニズムと、MSC(海洋管理協議会)アンバサダーのお笑い芸人が考える、環境問題への取り組み方を読んで、地球環境と人間社会について自分の考えをまとめる。



▲ p.9~ 「未来への扉」



# 3 一人一人の「学びたい」に寄り添う。

—分かるようになりたい、できるようになりたい、知りたい、もっと学びたい。  
一人一人の「たい」にしっかり応える教科書です。



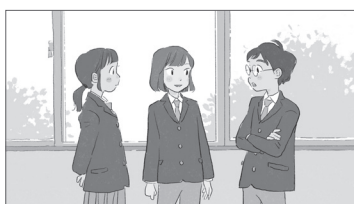
① 教科書だけが「教科書」ではありません。豊富なデジタルコンテンツで個別最適な学びをサポートします。

- 学習への興味・関心を高めるために、ちょっとしたつまづきを解消するために、理解したことを定着させるために、一歩先の学習へと進むために。2年用に142あるデジタルコンテンツが生徒の「学びたい」気持ちに応えます。
- まるで資料集。学習に役立つ参考資料をデジタルコンテンツで取りそろえました。

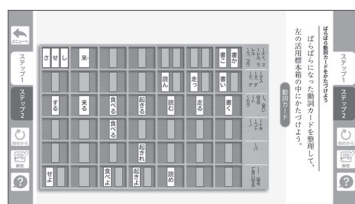
デジタルコンテンツ一覧

各教材のデジタルコンテンツがわかるよう、①が示されているコンテンツは、巻頭の学習指導要領にも取り上げられています。 <https://hwa.jp/g2/>

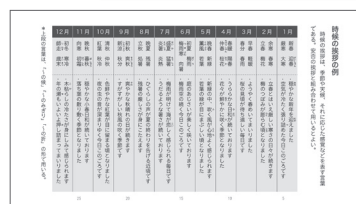
単元	単元	単元	単元	単元
第1単元	第2単元	第3単元	第4単元	第5単元
第6単元	第7単元	第8単元	第9単元	第10単元
第11単元	第12単元	第13単元	第14単元	第15単元
第16単元	第17単元	第18単元	第19単元	第20単元
第21単元	第22単元	第23単元	第24単元	第25単元
第26単元	第27単元	第28単元	第29単元	第30単元
第31単元	第32単元	第33単元	第34単元	第35単元
第36単元	第37単元	第38単元	第39単元	第40単元
第41単元	第42単元	第43単元	第44単元	第45単元
第46単元	第47単元	第48単元	第49単元	第50単元
第51単元	第52単元	第53単元	第54単元	第55単元
第56単元	第57単元	第58単元	第59単元	第60単元
第61単元	第62単元	第63単元	第64単元	第65単元
第66単元	第67単元	第68単元	第69単元	第70単元
第71単元	第72単元	第73単元	第74単元	第75単元
第76単元	第77単元	第78単元	第79単元	第80単元
第81単元	第82単元	第83単元	第84単元	第85単元
第86単元	第87単元	第88単元	第89単元	第90単元
第91単元	第92単元	第93単元	第94単元	第95単元
第96単元	第97単元	第98単元	第99単元	第100単元
第101単元	第102単元	第103単元	第104単元	第105単元
第106単元	第107単元	第108単元	第109単元	第110単元
第111単元	第112単元	第113単元	第114単元	第115単元
第116単元	第117単元	第118単元	第119単元	第120単元
第121単元	第122単元	第123単元	第124単元	第125単元
第126単元	第127単元	第128単元	第129単元	第130単元
第131単元	第132単元	第133単元	第134単元	第135単元
第136単元	第137単元	第138単元	第139単元	第140単元
第141単元	第142単元	第143単元	第144単元	第145単元
第146単元	第147単元	第148単元	第149単元	第150単元
第151単元	第152単元	第153単元	第154単元	第155単元
第156単元	第157単元	第158単元	第159単元	第160単元
第161単元	第162単元	第163単元	第164単元	第165単元
第166単元	第167単元	第168単元	第169単元	第170単元
第171単元	第172単元	第173単元	第174単元	第175単元
第176単元	第177単元	第178単元	第179単元	第180単元
第181単元	第182単元	第183単元	第184単元	第185単元
第186単元	第187単元	第188単元	第189単元	第190単元
第191単元	第192単元	第193単元	第194単元	第195単元
第196単元	第197単元	第198単元	第199単元	第200単元
第201単元	第202単元	第203単元	第204単元	第205単元
第206単元	第207単元	第208単元	第209単元	第210単元
第211単元	第212単元	第213単元	第214単元	第215単元
第216単元	第217単元	第218単元	第219単元	第220単元
第221単元	第222単元	第223単元	第224単元	第225単元
第226単元	第227単元	第228単元	第229単元	第230単元
第231単元	第232単元	第233単元	第234単元	第235単元
第236単元	第237単元	第238単元	第239単元	第240単元
第241単元	第242単元	第243単元	第244単元	第245単元
第246単元	第247単元	第248単元	第249単元	第250単元
第251単元	第252単元	第253単元	第254単元	第255単元
第256単元	第257単元	第258単元	第259単元	第260単元
第261単元	第262単元	第263単元	第264単元	第265単元
第266単元	第267単元	第268単元	第269単元	第270単元
第271単元	第272単元	第273単元	第274単元	第275単元
第276単元	第277単元	第278単元	第279単元	第280単元
第281単元	第282単元	第283単元	第284単元	第285単元
第286単元	第287単元	第288単元	第289単元	第290単元
第291単元	第292単元	第293単元	第294単元	第295単元
第296単元	第297単元	第298単元	第299単元	第300単元



▲ 【デジタルコンテンツ】  
p.166~ 「具体と抽象」の「考えよう」  
学習の導入に動画を見て、課題意識を持つ。



▲ 【デジタルコンテンツ】  
p.100 「活用のある自立語」の「文法ゲーム」  
学習の導入に、または理解の定着に。

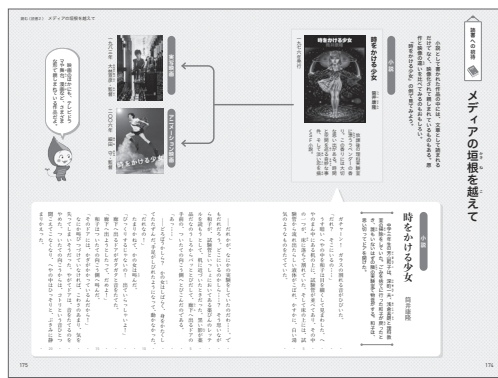


▲ 【デジタルコンテンツ】  
デジタル資料室「手紙の書き方」  
国語だけでなく他教科の学習や生活の中でも活用できる。

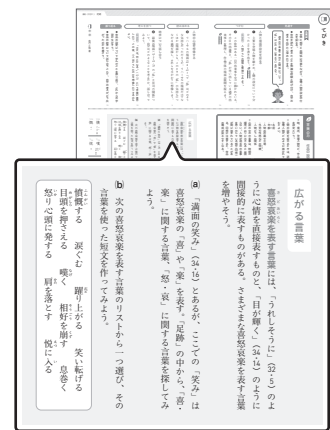
▲ p.301~ 「デジタルコンテンツ一覧」  
各教材の学習に役立つ映像やアニメーションなどの動画、学習ゲーム、解説、資料などを、教科書に示した2次元コードから利用できる。

② 視野を広げ自分を高めるための読書、自分の思いや考えを表現するための語彙の学習も充実しています。

- 読書は、自己を見つめ、世界を広げ、未来を考えるための、最短で最良の道。本に思わず手を伸ばしたくなる、そんな仕掛けをちりばめました。
- 心の機微を、緻密な思考を、表現できるようになってほしい。多様で多彩な言葉に触れられる機会を数多く設けました。



▲ p.174-「メディアの垣根を越えて」  
小説が実写やアニメーションで映画化されたり、漫画が映画や小説に展開されたりすることを知り、読書に親しむ。



▲ p.32-「足跡」の「広がる言葉」

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色 [ ] 内は、教育基本法 第1章 第2条のうち、特に関連の深いものを示す。	該当箇所
言葉の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「あの夕暮れへ帰る」では、季節の移ろいについての筆者の感性と、季節にまつわる美しい日本語に触れ、自然や日本語を大切にすることを養います。[第1・4・5号]</li> </ul>	▶ 16～18ページ
1 言葉を感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 短歌の鑑賞と創作を通して、豊かな情操を育みます。[第1・5号]</li> </ul>	▶ 20～27ページ
2 作品を読み解く	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中学生の等身大の葛藤と、弟との関係を描いた「足跡」を読むことを通して、豊かな情操と家族への情愛を育みます。[第1・3号]</li> <li>• 「意見と根拠の聞き方」で、話の内容を吟味しながら聞き、考えを深めます。[第3号]</li> </ul>	▶ 32～45ページ ▶ 46～50ページ
3 伝え方を工夫する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「ネコだって推理できる」を読んで、科学的なアプローチや考え方について学びます。[第1号]</li> <li>• 地域の魅力を伝える紹介文を書くことを通して、郷土を愛する心を育みます。[第5号]</li> </ul>	▶ 56～65ページ ▶ 66～72ページ
4 思いを深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 家族への思いをつづった「字のない葉書」を通して、家族への情愛を育みます。[第3号]</li> <li>• 依頼状やお礼状の書き方を学び、職業への意識と社会性を養います。[第2・3・5号]</li> </ul>	▶ 88～95ページ ▶ 96～97ページ
5 説得力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 美と文化との関わりを論じた二つの評論文を読み比べることを通して、主体的に考えを深めようとする姿勢と、異文化を尊重する態度を養います。[第1・2・5号]</li> <li>• 根拠を吟味して、説得力のある意見文を書き、論理的思考力を磨きます。[第1号]</li> </ul>	▶ 102～111ページ ▶ 112～117ページ
6 伝統文化を味わう	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 豊富な資料と併せて古典を学び、伝統文化に親しみます。[第1・5号]</li> </ul>	▶ 124～151ページ
7 表現を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 言葉の特性について論じた『『正しい』言葉は信じられるか』を読み、新聞記事を印象的に書き換えることに取り組んで、言葉への認識を深めます。[第1・3号]</li> <li>• プレゼンテーションで、提案を受け入れてもらうための話し方を学びます。[第3号]</li> </ul>	▶ 156～167ページ ▶ 168～172ページ
8 描写を味わう	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 信頼と葛藤を描いた「走れメロス」を読むことを通して、正義感や誠実な心、自他の敬愛、自律の精神を育みます。[第1・2・3号]</li> <li>• 短歌から想像を広げて物語を書くことで、個性を磨き、創造性を養います。[第2号]</li> <li>• 身近な社会問題を題材として話し合う活動を通して、問題を検討したり意思決定したりするための方法を学ぶとともに、公共の精神を養います。[第3号]</li> </ul>	▶ 184～201ページ ▶ 202～206ページ ▶ 207～211ページ
未来への扉	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1年間の学習の総まとめとして、複数の文章を読み、地球環境と人間社会について考えます。また、これまでの学習を通して考えてきた自分や社会の課題を振り返ります。[第1～5号]</li> </ul>	▶ 216～223ページ
詩	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 悠久の時の中で未来を主体的に切りひらくことをうたう「未来へ」、戦争を乗り越えて生きる決意をうたう「わたしが一番きれいだったとき」を学びます。[第2・5号]</li> <li>• 「日本語のしらべ」として、北原白秋の「落葉松」を学びます。[第5号]</li> </ul>	▶ 巻頭見返し、 214～215ページ ▶ 120～122ページ
読書 (読書と情報/ 読書への招待/ 読書案内/読書活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 鯉節のすばらしさを説いた「鯉節——世界に誇る伝統食」を読み、伝統・文化への認識を深めるとともに、受け継いでいく意義についても考えます。[第5号]</li> <li>• 「メディアの垣根を越えて」で本やメディアについて理解を深め、読書に親しみます。[第1号]</li> <li>• 3年間で422冊のさまざまな種類・テーマの本を紹介し、本を読んで調べたり感想を交換したりする活動を設定しています。[第1～5号]</li> </ul>	▶ 78～83ページ ▶ 174～179ページ ▶ 76～77、84～86、 180～182ページ等
言葉 (日本語探検/ 文法の窓・文法解説/ 漢字道場/広がる言葉)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本語の特徴や文法、漢字を学び、日本語への興味・関心を高めます。[第1・5号]</li> <li>• 教科書やデジタルコンテンツを通してさまざまな語彙に触れ、語感を磨き、語彙習得への意欲を高めます。[第1・5号]</li> </ul>	▶ 51～53ページ ほか ▶ 45ページ ほか
資料編	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小説・説明文や古典の解説文、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習に役立つ資料、漢字資料などを掲載し、自主的な学習に役立てられるようにしています。デジタルコンテンツではさらに多くの資料を用意しています。[第1～5号]</li> </ul>	▶ 246ページ～巻末

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### (1) 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

##### ① インクルーシブ教育を目指して

- ・特別支援教育の専門家・校閲を受け、全ての生徒にとって読みやすく使いやすい教科書となるように配慮しています。
- ・国語の授業では、文章の行数で指示を出すことがしばしばあります。生徒が行を数えやすいように、各行の下に数字と点を付しました。
- ・特別支援教育に有効な機能が充実した「学習者用デジタル教科書」の発行を予定しています。

##### ② ユニバーサルデザインへの取り組み

- ・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。色のみで違いを表現することは避け、色に加えて模様や記号で識別できるようにするなどの工夫をしました。
- ・脚注欄などの小さめの文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用い、読みやすさに配慮しています。
- ・生徒が情報を捉えやすく学習に集中できるように配慮しています。文字と図版などとの区別や、活動の区切りを明確にし、文字の大きさや書体、罫線や囲みの使い方、色遣いなどを工夫しました。
- ・小学校教科書で使用されている教科書体に筆遣いや字形を合わせた、特別な明朝体を使用しています。

##### ③ 多様性への配慮

- ・文章や挿絵などに登場する人物について、性別や人種、身体的特徴、家庭環境等に偏りがないように配慮しています。

##### ④ 造本上の工夫

- ・生徒の身体的負担を軽減するために、学習の参考や深化・拡充のための資料は、2年用に142ものデジタルコンテンツとして用意するなど、教科書の内容を精選し、ページ数を削減しました。また、本文用紙は、十分な強度を保ちつつ軽量化したものを使用しています。
- ・環境への配慮から、再生紙および植物油インキを使用しています。また、印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たした「グリーンプリンティング認定工場」で印刷・製造を行っています。

#### (2) 1人1台端末時代の教科書

- ・1人1台端末の実現に伴い、教科書の各教材に示した2次元コードからアクセスして利用できる音声や映像などの資料(デジタルコンテンツ)を豊富に用意しました。授業中に全員で見たり、活動の中で各自が必要に応じて使ったりできるコンテンツのほか、家庭での自学自習に活用できるコンテンツもあります。
- ・生徒が必要に応じて参照できる便利な資料を、デジタルコンテンツの「デジタル資料室」「言葉・漢字・古典の資料」として用意しました。いつでも閲覧することができ、授業中のみならず、生活の中でも活用することができます。
- ・教科書に示した2次元コードから、SDGsや情報活用の特設サイトにアクセスできます。

#### (3) 今日の課題への取り組み

##### ① 各種の教育課題への取り組み

- ・伝統・文化の継承を重視しています。古典や近代文学・近代詩を手厚く取り上げ、日本の伝統・文化に関する題材も数多く扱っています。
- ・教科書全体を通して「未来を考えるための9つのテーマ」を設定しました。「平和・国際理解」「地球環境」「多様性」「情報社会」「安全・防災」などの現代的諸課題をテーマとして立て、各教材の学習の中で意識できるようにしています。
- ・自己形成やキャリア教育に関する題材を積極的に扱っています。

##### ② 小・中・高の円滑な接続

- ・小学校の学習内容(学習指導要領)を踏まえて中学校の学習目標および「言葉の力」を設定し、小中9年間の系統性を図っています。
- ・小学校6年から中学校1年への学習の移行がスムーズに行えるように、1年の初めの文章教材は、小学校と同じ教科書体で、大きな活字で掲載しました。また、1年前半の教材は難しい内容を避け、小学校高学年の復習となるように配慮しています。
- ・3年では、高校への橋渡しとなるように、社会性のある題材や言語活動を扱ったり、論説文・評論文を掲載したりしています。また、3年資料編で「古典の文法」(発展的な学習)も扱っています。

##### ③ 学力向上への取り組み

- ・全国学力・学習状況調査やPISA調査で求められる学力の育成を意識して、文章や言語活動の題材を選定しました。また、文章と図表から読み取った情報を結び付けてまとめたり、条件に従って根拠を挙げて自分の意見を記述したりする設問を積極的に取り入れました。
- ・「読むこと」の脚注語彙や「広がる言葉」、デジタルコンテンツを中心に、家庭でも学ぶことのできる内容を用意しています。特にデジタルコンテンツには、予習・復習に活用できる資料や練習問題をそろえました。
- ・全ての学習の基盤にもなる読書を重視し、「読書案内」や「読書活動」を充実させるなど、生徒の豊かな読書生活を支援しています。

#### (4) 学校教育を取り巻く諸課題への取り組み

##### ① 先生がたの働き方改革への貢献

- ・何を学ぶのか(「言葉の力」)、どのように学ぶのか(「話すこと・聞くこと」「書くこと」の「学習の流れ」や、「読むこと」の3段階の「てびぎ」)を明示するとともに、活動の具体例を例示しました。指導計画・評価計画が立てやすく、無理なく指導できます。
- ・多くの教材に、導入や理解の定着に役立つデジタルコンテンツを用意しているため、先生の授業準備の効率化を図れます。
- ・デジタルコンテンツのほか、教師用指導書や教科書周辺教材を通じて、学習指導をさまざまな面から支援します。

##### ② カリキュラム・マネジメント

- ・他教科の学習内容と関連があり、相互に学びを深めることのできる教材に、教科関連マーク(🔗)と教科名を示しました。
- ・レポートや新聞、手紙、スピーチ、プレゼンテーション、さまざまな形式の話し合いなど、他教科の学習に生きる言語活動をそろえています。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各教材は、学習内容が相互に緩やかに関連しているものの、独立した教材であるため、学校の実情に応じて、教材の順番を組み替えて扱うことが可能です。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-81	中学校	国語	国語	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	国語002-82	新編 新しい国語 2		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

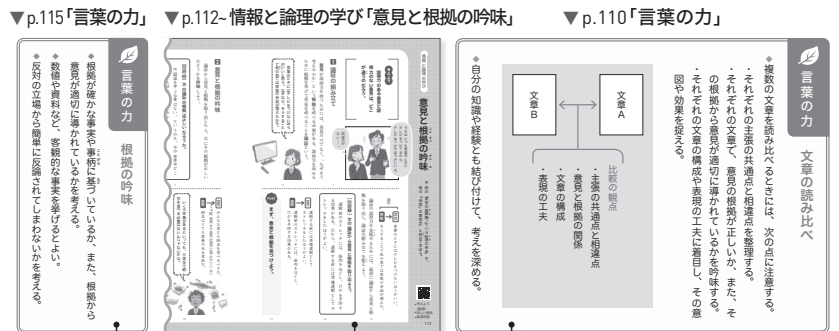
# 1 「言葉の力」を、生きる力に。

—国語の学習で、どんな力を、どうやって身につけるのか。その問いに答える教科書です。



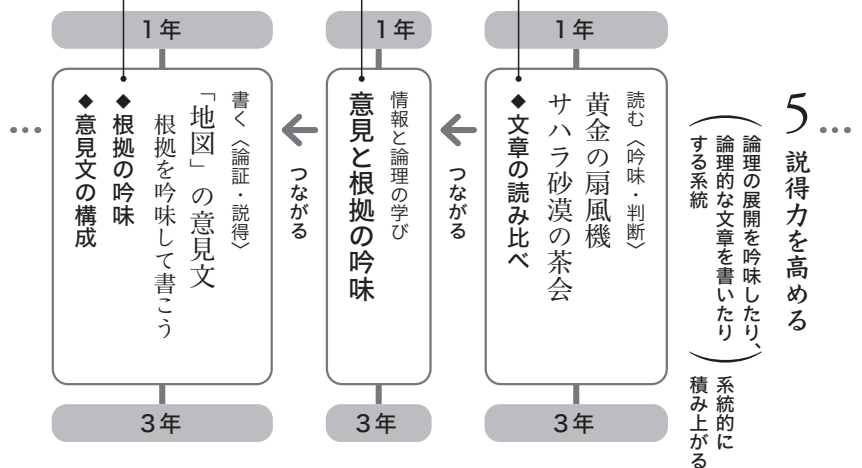
### ① 各教材で身につけたい力が、具体的かつ明確に分かります。

- 「話す・聞く」「書く」「読む」の各教材を通して身につけたい汎用的な言語能力のポイントを、「言葉の力」として明示しました。
- 3領域の学習を支える基礎力を取り立てて鍛える教材として、「情報と論理の学び」「文学の学び」「対話の学び」を設けました。



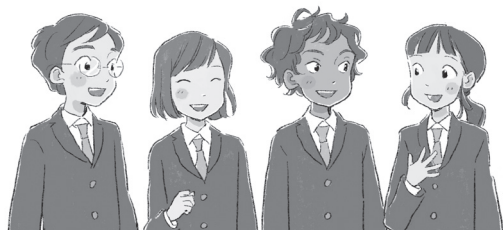
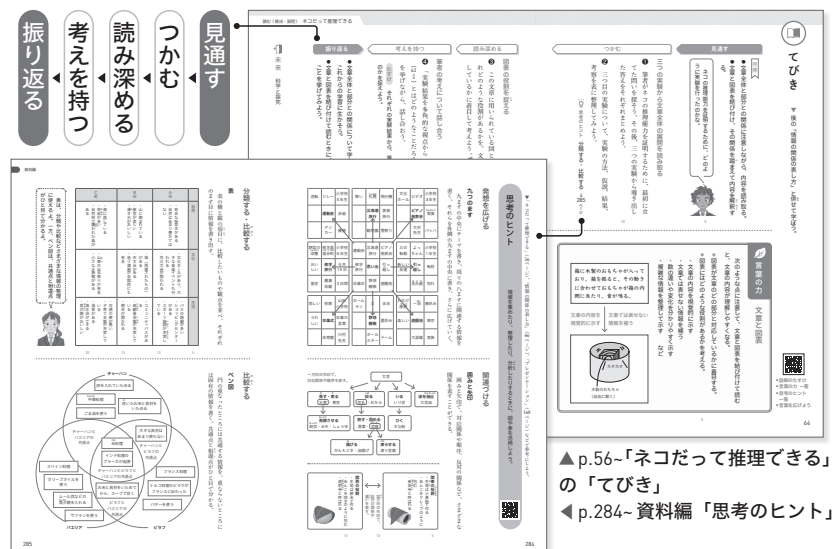
### ② 「言葉の力」は、3年間を通して有機的につながり、積み上がります。

- 「読む」から「話す・聞く」「書く」へ、「言葉の力」がつながるように教材を配列しました。また、同じ系統の力を3年間で段階的に積み上げることができます。
- 「情報と論理の学び」「文学の学び」「対話の学び」で鍛えた力は、前後の3領域の学習に生かすことができます。



### ③ 学習の進め方を分かりやすくしました。

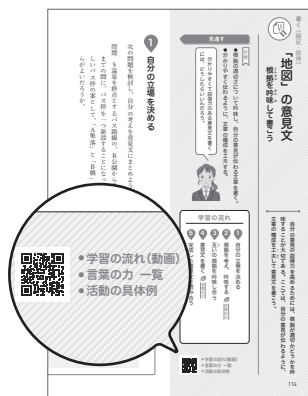
- 3領域とも、学習の見通しと振り返りの過程を重視しています。何に注目して学習し、振り返るのかを、生徒目線で示しました。
- 「読む」「古典」の「てびき」は、読解から考えの形成への流れを3段階に分けて示しました。
- 情報活用能力および論理的思考力の育成の一環として、適宜、思考を整理する方法(「思考のヒント」)を示しました。



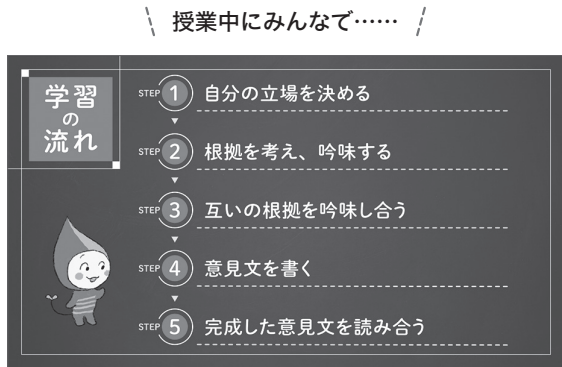
- ▲p.56-「ネコだって推理できる」の「てびき」
- ◀p.284-資料編「思考のヒント」



- 例えば「話す・聞く」「書く」では、学習の流れが分かるアニメーションを。授業の導入にみんなで見て、これからどんな活動をするのかを確かめます。
- 例えば「話す・聞く」「書く」では、教科書よりもさらに多くの具体例や作品例を。生徒が必要に応じて参照できます。



▲ p.114~『地図』の意見文



▲【デジタルコンテンツ】『地図』の意見文の「学習の流れ(動画)」



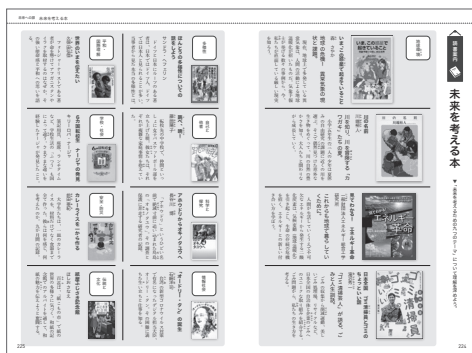
▲【デジタルコンテンツ】『地図』の意見文の「活動の具体例」

## ② 本は知識の泉。言葉は表現の種。生徒の今を、未来を支える、読書と語彙の学習を重視しました。

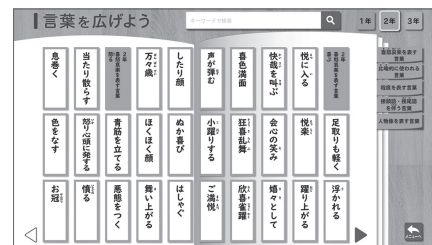
- 「世界を広げる本」「夏休みにおすすめの本」「未来を考える本」「中学生におすすめの本」など、422冊の本を紹介しています。
- 自分の思いや考えを表現するための語彙の学習も充実しています。



▲ p.84-「世界を広げる本 日本文化」



▲ p.224-「未来を考える本」



▲【デジタルコンテンツ】「言葉を広げよう」15のカテゴリーに分け、1870語の語彙を掲載。「読む」や「書く」の学習の中で参照したり、家庭学習で活用したりできる。

観点別の特徴	
教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育基本法の目的と理念を実現するため、特に次の4点を育むことを重視して編修している。 ① 幅広い知識・教養と思考力 ② 豊かな人間性 ③ 伝統文化を受け継ぐ心 ④ 未来を切りひらく創造性と公共の精神</li> </ul>
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中学校学習指導要領(国語)に示された教科の目標に則り、指導事項と言語活動例をもれなく扱っている。</li> <li>• 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の多彩な言語活動を通して「思考力、判断力、表現力等」の育成に努めるとともに、「言葉」「情報の扱い方」「古典」「読書」など「知識及び技能」も重視している。</li> </ul>
構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本編・資料編と、教科書に示した二次元コードから利用できるデジタルコンテンツからなり、学習指導要領の内容は本編で網羅している。デジタルコンテンツは、2年用に142用意している。</li> <li>• 本編の内容は、生徒や先生の過度な負担とならないように精選している。資料編とデジタルコンテンツを活用することで、適宜学習の深化や拡充が図れる。</li> <li>• 3学期制でも2学期制でも各領域等の指導がバランスよくなされるように、教材を配列している。</li> <li>• 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各教材で身につける言語能力を「言葉の力」として明示している。「言葉の力」は、「読むこと」から「話すこと・聞くこと」「書くこと」につながるように、また、1年間で段階を追って積み上がるように、さらに3年間で系統的に積み上がるように配置している。</li> <li>• 3領域を支える基礎力を鍛える「学びを支える言葉の力」(「情報と論理の学び」「文学の学び」「対話の学び」)を設けている。「学びを支える言葉の力」で学んだことが3領域の学習に生きるように、教材を配列している。</li> </ul>
資質・能力の育成	<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「言葉」や「情報の扱い方」については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で繰り返し取り上げるとともに、「日本語探検」「文法の窓・文法解説」「漢字道場」や「情報と論理の学び」で取り立てて学習できるようにしている。</li> <li>• 「読むこと」の脚注語彙や「広がる言葉」を中心に、生徒の語彙を増やす手立てを講じている。デジタルコンテンツの「言葉を広げよう」には、15のカテゴリーに分けて1870語の語彙を掲載しており、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習の中で適宜参照できるようにしている。</li> </ul>



資質・能力の育成	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」各教材の学習のポイントを「言葉の力」として明示し、着実な習得を図っている。「言葉の力」を多彩な言語活動の中で活用することを通して、思考力・判断力・表現力を育成できる。</li> <li>「学びを支える言葉の力」（「情報と論理の学び」「文学の学び」「対話の学び」）で、情報の扱い方や論理的な考え方、文学作品の読み深め方、コミュニケーションの基礎力を鍛えることができる。</li> </ul>
主体的・対話的で深い学びの実現（教材の構成・学習の進め方）	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「領域別教材一覧」で、生徒が既習事項を振り返ったり、今後の学習の見通しを持ったりすることができる。また、巻末の「言葉の力」一覧で、中学校3年間の学習を見通したり振り返ったりすることができる。</li> <li>巻頭扉の「言葉の学習を始めよう」に、国語の学習の意義を示している。また、国語の学習を生活に生かす視点を各所に示している。国語の学習で言語能力を育み、それを生活に生かしていこうとする態度を養えるようにしている。</li> <li>各教材では、言葉に着目し、言葉による見方・考え方を働かせられるように、活動指示や「てびき」を工夫している。</li> <li>各教材の「見通す」で学習目標と問いかけを、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の「学習の流れ」や、「読むこと」の3段階の「てびき」（「つかむ」「読み深める」「考えを持つ」）で学習の進め方を、「振り返る」で学習目標に照らした振り返りの観点を示している。これらを手がかりに、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。</li> <li>主体的・対話的で深い学びに資する課題解決的な言語活動をそろえ、協働的な学びの場面を数多く設定している。</li> <li>物語仕立ての教材やゲームを取り入れた教材、色鮮やかな写真や挿絵、デジタルコンテンツの映像やアニメーションなど、生徒の学習意欲を高める仕掛けを工夫している。</li> </ul>
学力向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査やPISA調査で求められる学力の育成を意識して、文章や言語活動を選定している。また、文章と図表から読み取った情報を結び付けたり、根拠を挙げて自分の意見を記述したりする設問が数多くある。</li> <li>「読むこと」の脚注語彙や「広がる言葉」、デジタルコンテンツを中心に、家庭でも学ぶことのできる内容を用意している。予習・復習に、また授業で学んだことを生かして取り組む学習に活用できる。</li> <li>全ての学習の基盤にもなる読書を重視し、「読書案内」で422冊の多種多様な本を紹介している。</li> </ul>
小・中・高の円滑な接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標および「言葉の力」は、小学校の学習内容（学習指導要領）を受け、小中9年間の系統性を図って設定している。</li> <li>小学校6年から中学校1年への学習の移行がスムーズに行えるように、1年の初めの文章教材は、小学校と同じ教科書体で、大きな活字で掲載している。また、1年前半の教材は、小学校高学年の復習となる内容にしている。</li> <li>3年では、高校への橋渡しとなるように、社会性のある題材や言語活動を扱ったり、論説文・評論文を掲載したりしている。また、3年資料編で「古典の文法」（発展的な学習）も扱っている。</li> </ul>
他教科の学習との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラム・マネジメントに資するよう、他教科の学習内容と関連があり、相互に学びを深められる題材を数多く取り上げている。他教科と特に関連の深い教材に教科関連マーク（)と教科名を示している。</li> <li>レポートや新聞、手紙、スピーチ、プレゼンテーションなど、他教科の学習に生きる言語活動をそろえている。</li> </ul>
伝統・文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国で長く読み継がれてきた珠玉の古典作品を、美しい写真資料を添えて掲載するとともに、古典の鑑賞・解説の文章も豊富に掲載している。「てびき」は、伝統・文化がどのように受け継がれてきたのかを考えられる内容にしている。</li> <li>近代文学や近代詩の名作も、数多く掲載している。詩歌は、学年3か所の詩教材に加え、扉に季節感のある詩歌を印象的な写真とともに掲載し、一年を通じて日本の豊かな風土に培われた言語文化に親しめるようにしている。</li> <li>「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」でも、日本の伝統・文化に関する文章や言語活動を扱っている。</li> </ul>
現代的な諸課題の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書全体を通して「未来を考えるための9つのテーマ」を設定している。具体的には、①平和・国際理解、②地球環境、③伝統と文化、④多様性、⑤情報社会、⑥安全・防災、⑦科学と探究、⑧学校・社会、⑨自己と他者の9つで、現代的諸課題を取り上げて、各教材の学習の中で考えを深められるようにしている。</li> <li>自己形成やキャリア教育に関する題材を積極的に扱っている。</li> <li>メディアリテラシーおよび情報活用能力を育成する教材を全学年に設けている。</li> </ul>
教育の情報化への取り組み（ICTの活用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人1台端末の実現に伴い、教科書の各教材に示した2次元コードからアクセスして利用できる音声や映像などの資料（デジタルコンテンツ）を豊富に用意している。家庭での自学自習に活用できるコンテンツもある。</li> <li>生徒が必要に応じて参照できる便利な資料を、デジタルコンテンツの「デジタル資料室」「言葉・漢字・古典の資料」として用意している。授業中に参照するだけでなく、家庭学習でも活用することができる。</li> <li>教科書に示した2次元コードから、SDGsや情報活用の特設サイトにアクセスできる。</li> </ul>
特別支援が必要な生徒への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の専門家の校閲を受け、全ての生徒にとって読みやすく使いやすい教科書となるように配慮している。</li> <li>「読むこと」の文章では、生徒が行を数えやすいように、各行の下に数字と点を付している。</li> <li>特別支援教育に有効な機能が充実した「学習者用デジタル教科書」の発行を予定している。</li> </ul>
ユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っている。色だけでなく模様や記号で識別できるように工夫している。</li> <li>脚注欄などの小さめの文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用い、読みやすさに配慮している。</li> <li>生徒が情報を捉えやすく学習に集中できるように配慮している。文字と図版などとの区別や、活動の区切りを明確にし、文字の大きさや書体、罫線や囲みの使い方、色遣いなどを工夫している。</li> <li>本文書体に、小学校教科書で使用されている教科書体に筆遣いや字形を合わせた、特別な明朝体を使用している。</li> </ul>
印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の身体的負担を軽減するため、学習の参考や深化・拡充のための資料はデジタルコンテンツとして用意するなど、教科書の内容を精選し、ページ数を削減している。また、十分な強度を保ちつつ軽量化した用紙を使用している。</li> <li>環境への配慮から、再生紙および植物油インキを使用している。また、印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たした「グリーンプリンティング認定工場」で印刷・製造を行っている。</li> <li>表紙には耐久性に優れた加工を施し、製本には特に堅牢な針金綴じを用いている。</li> </ul>

## 2. 対照表

ページ	教材名	学習指導要領の内容				配当時数				配当学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			知・技	思・判・表			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと		話・聞	書	読	
巻頭	未来へ				(1)イ,(2)イ				1	一学期 38時間 / 書・予 10時間
16	あの夕暮れへ帰る	(1)エ			(1)オ,(2)イ				2	
20 / 巻頭	短歌を楽しむ / 短歌五首 / 扉の短歌八首	(1)エ			(1)イ・オ,(2)イ				2	
25	短歌の創作			(1)エ,(2)ウ				3		
28	同訓異字	(1)ウ・エ				1				
30 / 226	活用のない自立語	(1)オ				2				
32	足跡	(1)エ			(1)ア・オ,(2)イ				4	
46	異なる考えの聞き方		(1)エ				1			
48	意見と根拠の聞き方	(2)ア	(1)エ,(2)ア				2			
51	敬語	(1)カ				2				
54	漢字の意味	(1)ウ				1				
56	ネコだって推理できる	(1)エ,(2)ア・イ			(1)ア・イ・ウ, (2)ア				4	
66	情報の関係の表し方	(2)イ				1				
68	「地域の魅力」の紹介文	(1)ア,(2)イ		(1)ア・エ,(2)イ				8		
73	類義語・対義語・多義語	(1)エ				1				
76 / 78	インターネット・新聞の活用 / 鯉節——世界に誇る伝統食	(3)エ			(1)イ,(2)ウ	(3)			3	
88	字のない葉書	(1)エ			(1)イ・エ,(2)イ				3	
94	人物像				(1)イ				1	
96	依頼状とお礼状	(1)ア・カ		(1)エ,(2)イ				3		
98	熟語の構成・熟字訓	(1)ウ				1				
100 / 230	活用のある自立語	(1)オ				2				
102	黄金の扇風機 / サハラ砂漠の茶会	(1)エ,(2)ア			(1)エ・オ,(2)ア				5	
112	意見と根拠の吟味	(2)ア				1				
114	「地図」の意見文	(1)オ,(2)ア		(1)イ・ウ,(2)ア				6		
118	同音異義語	(1)ウ・エ				1				
120	落葉松				(1)ア,(2)イ				1	
124	枕草子・徒然草	(3)イ		(1)ウ	(1)エ	(4)	1		3	
132	平家物語	(3)ア・イ			(1)オ	(4)			4	
146	漢詩	(3)ア			(1)エ	(3)			3	
152	話し言葉と書き言葉	(1)イ				1				
154	紛らわしい漢字	(1)ウ				1				
156	「正しい」言葉は信じられるか	(1)エ,(2)ア		(1)イ・ウ	(1)エ,(2)ア			2	3	
166	具体と抽象	(2)ア				1				
168	プレゼンテーション	(1)ア・オ, (2)ア・イ	(1)イ・ウ,(2)ア				6			
173	他教科で学ぶ漢字 (1)	(1)ウ				1				
174 / 182	メディアの垣根を越えて / ビブリオバトル	(3)エ			(1)オ,(2)イ	(2)			2	
184	走れメロス	(1)エ			(1)イ・エ,(2)イ				6	
202	短歌から始まる物語	(1)エ		(1)ウ・オ,(2)ウ				7		
207	リンクマップによる話し合い	(2)ア・イ	(1)ア・オ,(2)イ				6			
212 / 234	助詞・助動詞	(1)オ				2				
213	他教科で学ぶ漢字 (2)	(1)ウ				1				
214	わたしが一番きれいだったとき				(1)イ・オ,(2)イ				2	
216	地球環境と人間社会	(2)ア	(1)イ,(2)ア	(1)ウ,(2)ア	(1)オ,(2)ア		1	1	2	
242	小学校6年の漢字〈学習〉	(1)ウ				1				
計						21	16	31	51	119
						書写および予備				21
						総計				140

### [備考]

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の内容を扱う教材内で、併せて「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」の「ア・イ・エ」を取り立てて扱う場合、「配当時数」の「知・技」欄にも括弧付きで時数を示した。
- ・「配当学期」欄に「書・予」とともに示した数字は、書写および予備の時数である。
- ・「知識及び技能」の「(1)ウ」のうち、学年別漢字配当表の漢字については、読み慣れることを目的として全ての教材で扱っている。また、文や文章の中で使うことを目的として「書くこと」の教材で扱っている。特に小学校6年で学習した漢字は、「小学校6年の漢字〈学習〉」で取り立てて扱い、確認できるようにしている。その他の常用漢字については、368字を第2学年で新出漢字として提出している。